

## 資料 8

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

協議会・構成員 田原本町地域公共交通活性化協議会

田 原 本 町

西村タクシー有限会社

奈 良 県

事業名	補助対象事業者等	事業概要	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	西村タクシー(有) 地域内フィーダー系 統	田原本町全域 デマンドタクシー 運行事業	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 目標 利用人数を13.0人/日維持に対して17.5人/日であった。平成23年度実績と比較して4.5人/日増加し、年間利用者数は、約4,300人であった。	午前中の利用予約が多く、乗合率の向上に努めるとともに、9時・10時台については、予約状況に応じて1便増便する。

## 【各評価項目の評価基準】

## 事業実施の適切性

- A...事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

## 目標・効果達成状況

- A...事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B...事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C...事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。

# 田原本町地域公共交通活性化協議会 (奈良県磯城郡田原本町)

事業名：平成24年度デマンドタクシー運行事業

## 概要

田原本町では駅周辺以外の多くの地域が公共交通不便地域に当たり、これらの地域では日常の交通手段は自家用自動車を中心となっている。多くの高齢者は日々の生活において、家族による送迎に頼らざるを得ない状況にあり、買い物や通院に不便を来している。こうした背景から公共交通不便地域から近鉄線駅周辺地域へのアクセス利便性向上と地域の再生を目的とし、デマンド型あいのりタクシーもたろう号の運行事業を実施する。

運行主体 西村タクシー有限会社

上位計画 田原本町地域公共交通総合連携計画



## 目的、計画、目標(Plan)

田原本町では郊外の多くが交通不便地域となっている。また、スーパーや医療機関等は、町の中心部や国道沿いに多くあり、この地域にお住まいの方々は、買い物や通院、お出かけの際の交通アクセスに不便を来している。こうしたことから、高齢者等、いわゆる交通弱者に対する移動手段の確保を図る必要がある。

高齢者等の買い物・通院といった日常生活の外出支援(移動手段の確保)  
公共交通と連携した、まちづくりによる地域活性化  
の方針に基づくデマンド型あいのりタクシーもたろう号の運行を行う。利用者数については、H23年度実績の13.0人/日を維持する。

## ネットワーク計画等の取り組み(Do)

運行エリア	田原本町内全域
乗降場所	停留所:各自治会に設置、町内の鉄道駅、公共施設等
運行日	月曜から金曜日(土・日、祝日、年末年始は運休)
運行時間帯	午前9時～午後4時(H24年4月から9月) 午前9時～午後5時(H25年1月からH25年3月)
料金	毎時0分 田原本駅前広場出発 大人 300円 小学生 150円
運行方法	予約に基づき運行

## 基礎データ

評価期間	平成24年4月～平成25年3月
	地域公共交通確保維持改善事業は、平成24年度からの取り組みであるため、上記期間で評価する。
人口	32,872人 (H25.3.31現在)
面積	21.10 km <sup>2</sup>
高齢化率	25.81% (H25.3.31現在)
交通不便地域人口	7,314人 (H22年度国勢調査)
鉄軌道駅数	4駅 (田原本町内)
系統数	1系統
運行回数	1,765回 (H24年度実績)
協議会負担金	22年度 10,490千円 23年度 11,610千円
協議会開催状況	第6回地域公共交通活性化協議会(H24年2月) 第7回地域公共交通活性化協議会(H24年6月) 第8回地域公共交通活性化協議会(H24年12月)

## 実施状況、目標の達成(Check)

平成24年度の生活交通ネットワーク計画では、利用人数13.0人/日の維持を目標としておりましたが、平成24年度末では17.5人/日であった。平成23年度実績と比較して4.5人/日の増加で、年間利用数は4,290人であった。

登録人数は、計画当初898人であったが、増加傾向となっている。また、利用状況については、70歳代・80歳代の利用が特に多く、午前中の利用が多い状況となっている。こうしたことから、高齢者等の外出支援に役立っているものと考えられる。

## 今後の課題、対応(Action)

午前中の利用予約が多く、時間帯によっては、ご利用いただけない場合がある。  
運行スケジュールを調整し、乗合率の向上に努めるとともに、特に予約の多い9時台・10時台については、予約状況に応じて1便増便する。